

取扱説明書



非常信号灯 (懐中電灯付)

国土交通省 保安基準適合品
車検対応品

注文コード: 52242374

このたびは、非常信号灯(懐中電灯付)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

警告 この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

- 走行中に本製品を点灯しないでください。
- 本商品は発炎筒の代替品のため、発炎筒ホルダーに確実に装着してください。

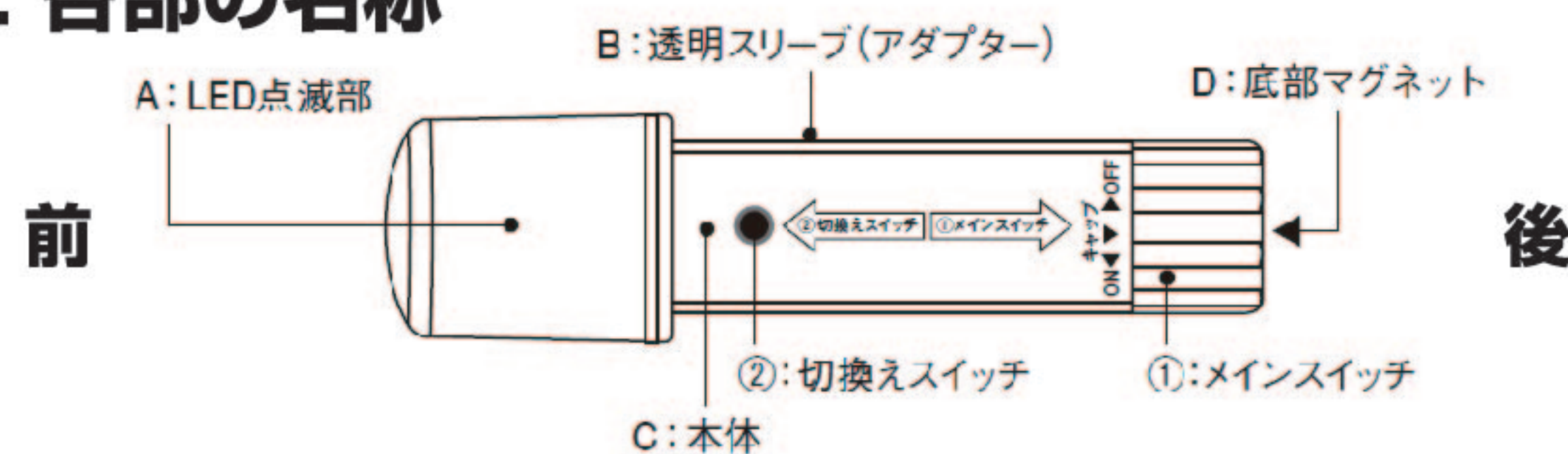
- 充電式電池や新旧異なる電池は使用しないでください。また、土の向きは正しく入れてください。液漏れ・破裂などにより怪我の原因となります。

注意 この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

- 定期的に乾電池の使用期限・液漏れの有無・点灯確認を行ってください。
- 脱着時に車体をこすらないようにしてください。傷がつくおそれがあります。
- 目に光を当て続けしないでください。

- 直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- 本体を分解したり、強い衝撃を加えないでください。
- 救難信号以外の用途では使用しないでください。

1. 各部の名称



2. 仕様

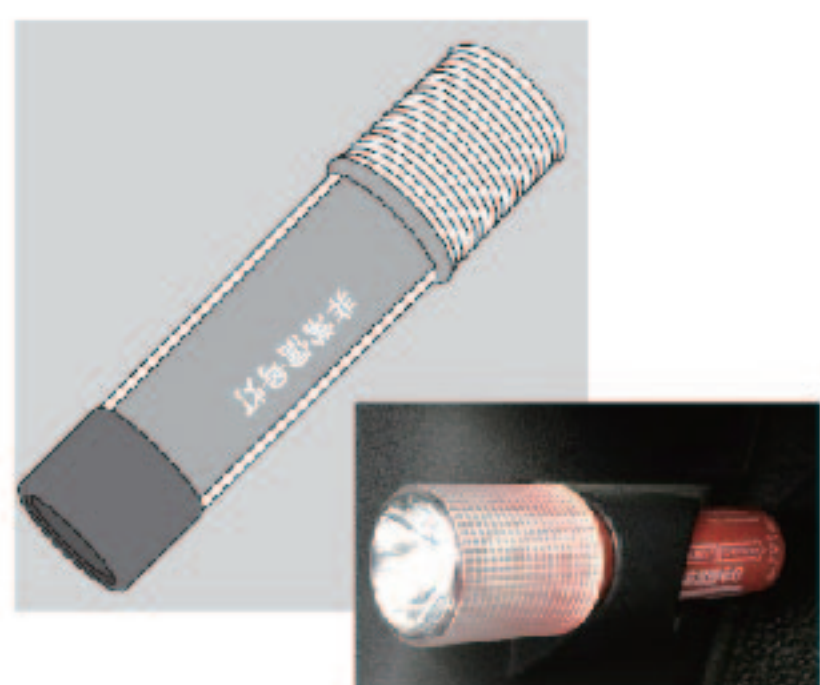
使用温度範囲(℃)	-10～45
点灯方式	点滅・点灯・懐中電灯
光度(cd)	1
LED使用数(個)	9
使用電池	単4乾電池×2本(動作確認用付属)
最長使用時間	非常灯: 連続20時間(新品アルカリ電池の場合)、 懐中電灯: 連続6時間(新品アルカリ電池の場合)

3. ご使用前に

- ① D: バッテリーキャップを左(反時計回り)に回し、取外します。
 - ② 箱の中の乾電池を取出し、乾電池のパッケージをはがしてください。
 - ③ +の向きを確認してから挿入してください。
- (※購入時に装着されている乾電池はモニター用です。作動テストを行い、作動しない場合は新しい乾電池に交換してください。)

4. 車両への装着方法

1-WAY (32φmmタイプ) トラック・商用車など



透明スリーブとバッテリーキャップを取外さずにそのままご使用ください。

2-WAY (27φmmタイプ) 中型一般車・輸入車など

(B)透明スリーブを取外してご使用ください。

●(B)透明スリーブの取外し方

1. (D)バッテリーキャップを左(反時計回り)に回すと(A)LED点滅部が点滅します。
 2. バッテリーキャップをさらに左(反時計回り)に回し、取外します。
 3. (C)本体をカバーしている、(B)透明スリーブをスライドさせ、取外します。
- ※透明スリーブは、本体の前後で若干太さが異なります。
再度取付ける場合は取付方向を間違えると、破損・がたつきの原因となります。

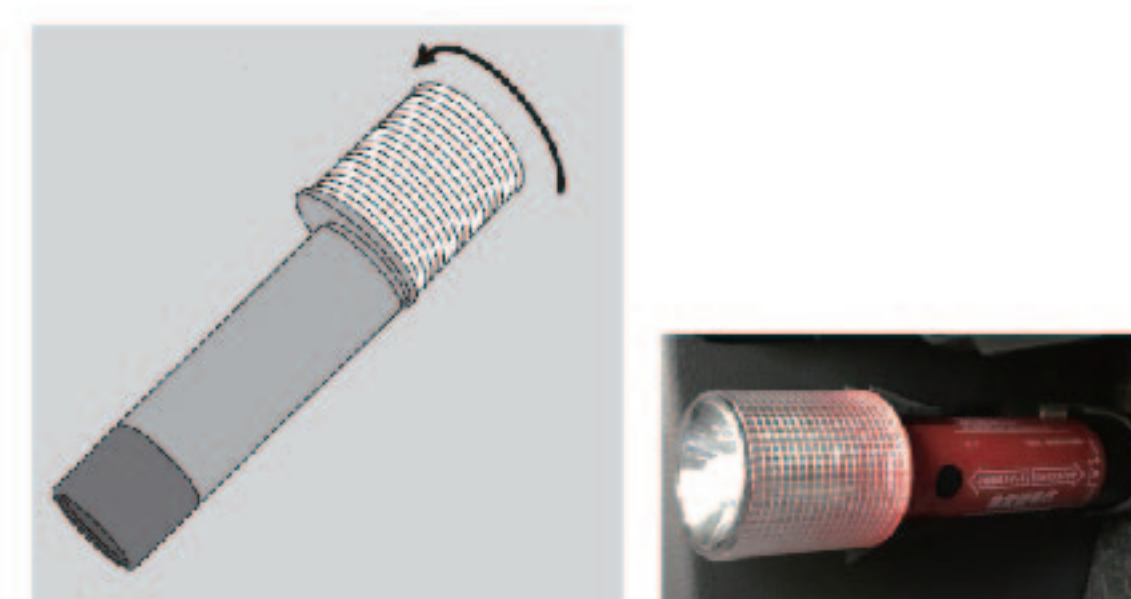


3-WAY (27φmmストレートタイプ) 小型車・軽自動車など

(B)透明スリーブを取外したあと、本体とLED点滅部を平らにしてご使用ください。

●C: 本体とLED点滅部を平らにする方法

1. (B)透明スリーブを取外します。
※上記の(B)透明スリーブの取外し方参照
 2. (A)LED点滅部を持ち、(C)本体を左(反時計回り)に回転させ、(A)LED点滅部と平らにします。
- ※回転を繰り返したり、無理な力を加えると、本体内部の配線がねじれ、断線するおそれがあります。



5. ご使用方法

●緊急使用時

1. (D)バッテリーキャップを左(反時計回り)に回すと、(A)LED点滅部が点滅します。
2. 周辺車両が確認しやすい場所に(E)底部マグネットで固定します。
(※本製品は車両搭載発炎筒の代替として使用可能です。)



●赤色点滅・点灯とライト(白色)の切替方法

1. (D)バッテリーキャップを左(反時計回り)に回すと、(A)LED点滅部が点滅します。
2. (F)切替スイッチを押すたびに、[赤色点灯]→[ライト(白色)点灯]→[赤色点滅]の順に切り替わります。
※赤色(点滅または点灯)とライト(白色)の同時発光はできません。



●電池交換方法

1. (D)バッテリーキャップを左(反時計回り)に回すと、(A)LED点滅部が点滅します。
2. (D)バッテリーキャップをさらに左(反時計回り)に回すと、取外すことができるので、取外したのち、電池(単4乾電池2本)を交換します。
※電池の向きに注意してください。